



Japan
Snow Access



妙高高原のスノーツアーリズム 誘致の歴史と現在

株式会社 Japan Snow Access
清水 史郎

外国人旅行客受入の始まり



2006年4月からVJ事業の一環として、白馬村、志賀高原と妙高市が、スキー、スノーボードの外国人旅行客の誘客を推進する事業から始まったが、当時は白馬以外は無名のエリアであった。

当時の妙高市観光協会は、インバウンドへの見識、知識、特性、国ごとに異なる志向、傾向。市場と需要の関係、創造力など、全てに無知であった。時間は掛かったが、実践と努力でカバーした。





清水 史郎

1956年10月21日生まれ（67歳）新潟県出身

1975年 新潟県立新井高校 卒業

1980年 明治大学 政治経済学部政治学科 卒業

1980年 ミズノ（株）在籍

1989年 全日空商事（株）在籍

2006年 ANAセールス（前全日空商事）退職

2006年 妙高市観光協会 事務局長 歴任

2012年 Japan Snow Accessを開業し、

地元新潟県で、ランドオペレーターを開業

外国人誘客には、妻の清水Amyのサポートの下、
二人三脚でスノーツーリズム誘致に尽力

スキー競技における実績



▶選手時代（現役時代）

青春時代 高校、大学のスキージャンプ選手として、全国大会で表彰台に複数回あがり、札幌の大倉山を舞台に世界を目指して飛んでいた。

▶実績

◆明治大学体育会スキー部時代

1978年第25回ユニバーシアード競技大会出場

◆MIZUNO時代

1981年第59回全日本スキー選手権大会 3位

▶指導者時代（引退後）

全日本コーチを歴任。指導者として再び世界へ指導した選手には日の丸飛行隊として活躍した、**原田雅彦氏、船木和喜氏**、ノルディックスキーの**荻原健司・次晴兄弟**もいた。

VJ事業参画とスノーツーリズム誘客の成功



1 (黎明期) 白馬ツーリズムが発起人となり、当時、国土交通省が推進するVJ事業からの支援を受け、県と市町村単位の地域連携によりインバウンド誘客を図るというアライアンス事業が立ち上がった。

2

(活動開始) 2006-7ウインターシーズンを皮切りにインバウンド客への誘致活動を開始。スキー、スノボの誘客を図る上で、最も有望な市場であるAustraliaをメインにプロモーション活動を展開。
(誘致活動) ・Australiaで実施されるSNOW EXPOへ出展。
・MEL、SYDの旅行AGTへのダイレクトセールスを頻繁に実施。

3

(欧州へ販路拡大) 2010～2018・欧州へのプロモーションも実施英国で開催されるSKI & Snowboard Showへ8年間出展。“深い雪”の妙高高原を売り込み、浸透させた。

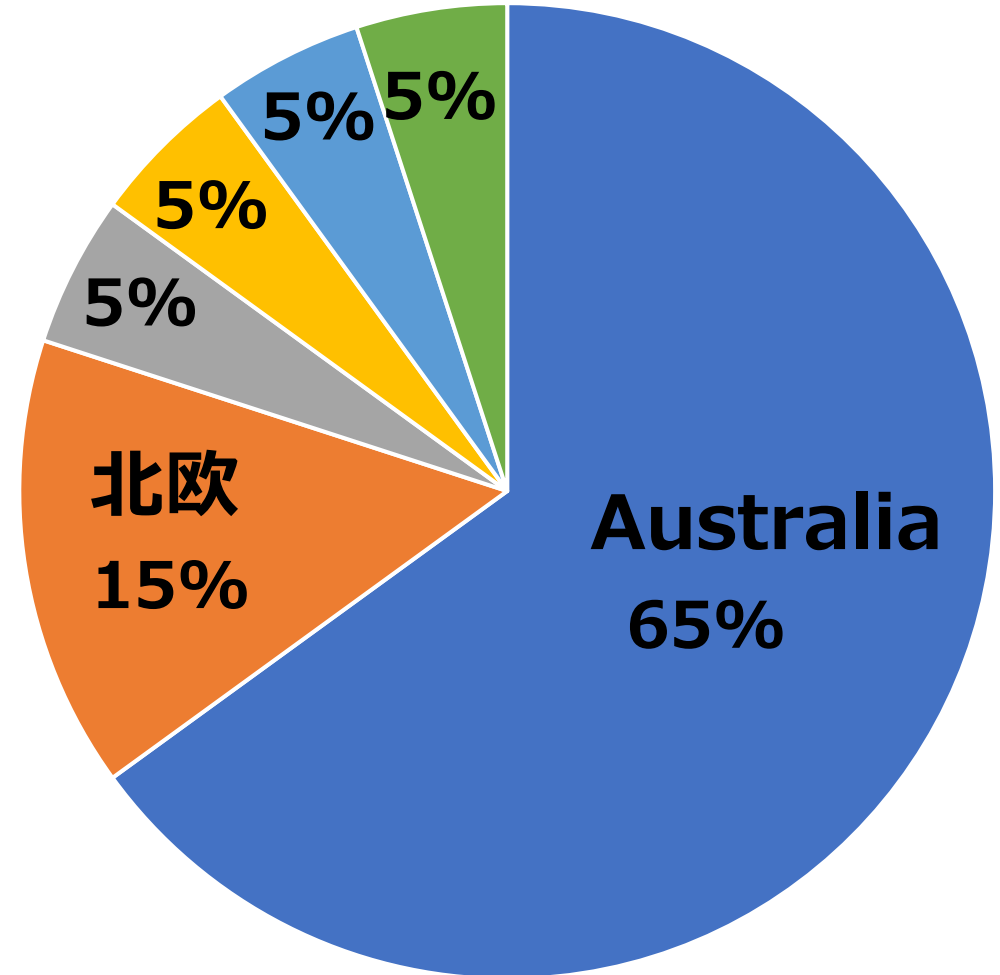
**この欧州への販路拡大は奏功し、北欧からの誘客も一気に増加し
妙高のスノーツーリズムは飛躍的に成長を遂げた。**



国・地域別の外国人誘客実績①

▶国・地域別の外国人旅行客の分布

国・地域	割合
Australia	65%
北欧	15%
欧州(北欧以外)	5%
USA、カナダ	5%
アジア	5%
その他	5%



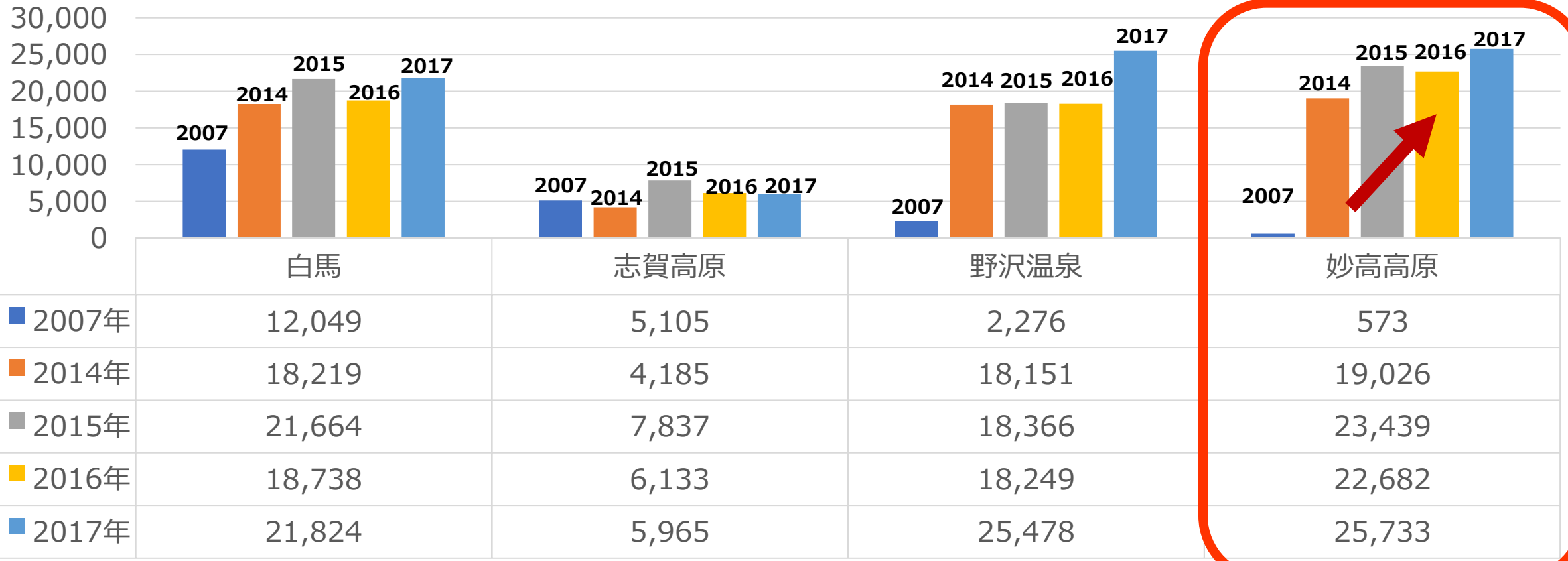
※妙高市年間実績は 約70,000～75,000泊

※長野新潟スノーリゾートアライアンス加盟の白馬、志賀高原、野沢温泉の3エリアも、ウィンター期間の外国人誘客実績の国別・誘客実績は概ね同様の状況

国・地域別の外国人誘客実績②



▶ 4 スキー場におけるスキーシーズンの訪日外国人延べ宿泊数（豪州のみ）



※VJ事業開始した2007年当時は、白马の一人勝ちであったが、妙高高原は野沢温泉とともに、次第に外国人誘客実績を伸ばし、2017年には地域アライアンスで白马を凌ぐ地位に上り詰めた。

外国人誘客の強み① 豊富なスキーコース



▶ 妙高高原の代表的なスキー場

池の平温泉スキー場



赤倉温泉スキー場



妙高杉ノ原スキー場



▶ **スキー場の難易度** 上級者向け20%/中級者向け65%/初級者向け15%

中級者向けが多く、ファミリー層の呼び込みに奏功した。

外国人誘客の強み② 立地の良さ



▶東京駅から北陸新幹線上越妙高駅まで 1 時間50分の好立地！



白馬

妙高高原

野沢温泉

志賀高原

特長

- ・各スキー場間の移動が便利
(上記 4 スキー場は長野駅から 90分圏内)
- ・スキー場間のシャトルバスも多い
- ・宿泊施設からスキーリフトが近い
- ・宿泊施設と飲食施設が隣接

スキー目的の長期滞在への優位性

外国人誘客の強み③ 豪雪の魅力



パウダースノーの魅力

妙高高原は、日本有数の豪雪地帯で、雪質の良いスキー場を多く有する。

バックカントリーの魅力

安全かつバックカントリーが存分に満喫できる環境が海外のリピーターの獲得に繋がっている。

充実した山ガイド

妙高高原を知り尽くした山スキーのガイドも充実。



海外プロモーションと人との繋がり



- 毎年、豪州で開催されるスノー・トラベル・エキスポに出展している。

▶ 展示会概要

名称： **Snow Travel Expo 2023**

日程： 2023年5月28日（日）

開催都市： シドニー

会場： シドニー・コンベンション・センター

詳細： オーストラリア国内を始め、ニュージーランド、アメリカ、カナダ、スイス、フランス、イタリア、オーストリア、韓国、中国など世界各国からスノー・リゾート関係者が70ブース以上出展。日本は約30団体、総計約20ブース出展しており、オーストラリアにおけるスノーツーリズムセールスの最大勢力となっている。

▶ オーストラリアとの繋がり

毎年、5月、MEL、SYDで開催されるSNOW TRAVEL EXPOに出展している繋がり、展示会を主催するPhil Osbornさんとは家族ぐるみの親交を深めるようになった。



Snow Travel Expo



Phil Osbornさん

課題① 外国人投資家と地域住民の融和



外国資本の代表的な施設（例）



ロッテアライリゾート



赤倉温泉 アルプ妙高



斑尾高原スキー場

妙高高原は外国人投資家の投資対象となり、様々な問題を抱えている。

- ・ 物件を購入する外国人の定着率と地元市民との融和
（赤倉温泉はすでに宿泊施設の5分の1は外国資本となっている）
- ・ 外国人投資家の素材提供が実際に機能する投資であるか
- ・ 地域住民がが訪日インバウンド旅行客に対する関心の向上の必要性

課題②：グリーンシーズンへの誘客拡大へ



奮闘するインバウンドの仕掛け人たち

妙高市は、スキーシーズン、いち早くコロナ禍前のにぎわいを取り戻し、奮闘するインバウンドの仕掛け人として、テレビのドキュメンタリーで取材を受けました。

制作：テレビ新潟（TeNY）

番組名：ニッポン開国 訪日外国人にわく妙高

放送日：2023年3月5日（日）

放送時間：16時55分～17時25分

＜これからの挑戦＞
グリーンシーズンの誘客拡大